

「乗降客 3000 人以下で機械的に無人化しない」

駅無人化・バリアフリーで近鉄と交渉

参院予定候補、近畿ブロック・奈良・京都・大阪の地方議員ら安全もとめる

■住民から不安の声

近鉄をはじめ、近畿の私鉄で無人駅が急増、安全や利便性に反する事態が相次ぎ、住民から不安の声があがっています。近畿ブロック事務所と奈良・大阪・京都の各府県委員会は、2月24日、近鉄に対し①無人化駅に駅員配置を②バリアフリーの完全実施③踏切・危険箇所における安全対策④地域住民と自治体との協議の4項目で申し入れを行いました。(写真)

近鉄は、2013年に無人駅を急増、「一日乗降客3000人以下」を基準にすすめた結果、現在、終日無人が奈良30駅、大阪3駅、時間帯による無人が奈良17駅、大阪5駅、京都2駅に達し、奈良では終日・時間帯を合わせた無人駅の割合は過半数になりました。

■「これ以上無人化せず、駅員配置に踏み出せ」

交渉では、「3000人はバリアフリー化目標であって無人化の基準ではないはず。3000人の根拠は何か」とただし、「新たな無人化は行わず、駅員配置の方向に転換すべき」と求めました。

近鉄は、「3000人で機械的に無人化している訳ではない」「現段階では無人駅を増やす考えはない」と回答。時間帯無人駅での人員配置時間の延長について「観光客増の時期や学生の試験時など、自治体からの要望があれば協議して検討する」と答えました。

バリアフリーについても、「各自治体との協議がすみ次第、平成32年までに3000人以上の駅で改修する」と回答しました。

交渉には、いずみ信丈参議院奈良選挙区候補、伊木知史・辰巳孝太郎秘書、今井光子奈良県議ら8自治体の地方議員らが参加しました。

今後、近畿ブロックとして、南海電鉄、近畿運輸局交渉など、国に向けても対策を求めていきます。

参院選勝利近畿ブロックニュース

TEL06(6975)9111 FAX06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

2016No. 2(16. 2. 25)



こんな事態が…参加者の発言から

- ・市役所や主要官庁、学校があるのにラッシュ時に無人。夜、線路に転落し、動けず携帯で家族に連絡して助かった。命が脅かされている。(富田林西口駅)
- ・券売機が故障。30分後に駅員が来たが、約束の時間に間に合わなかった。「人が宝」の考えがないのかと激怒の声が寄せられた。(尼ヶ辻駅)
- ・事故の際、何の情報伝達もなく、待たされた。無人だから対応できないのではないかと(石見駅)
- ・女子学生が帰宅時、怖くてトイレが利用できないと言っている。防犯上の問題が大きい(箸尾駅)
- ・地下に改札があり、階段しかない。(柏原南口駅)
- ・電動車イスの人が、駅員が来るまで30分待たされた(法善寺駅)
- ・スロープが急で車イスが利用できない(高見ノ里駅)
- ・2月に踏切事故があったばかり。危険な踏切の改良を(柏原市)
- ・町として駅前開発を計画。無人化は町づくりにも大きな影響がある